

令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【幼児教育学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2					
22JEDK1001	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。	短大の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。				◎	○			○
22JEDK1002	初期演習Ⅱ（幼児教育・保育）	1	「初期演習Ⅰ」で学んだことを踏まえて、2年次以降の専門領域の学習のための準備として、大学での学び方を演習形式で実践することにより研究のための基礎・基本を身につけることを目的とする。	（1）教育学・保育学に関する問題について、文献の正確な読み方および課題発見、資料検索、データ収集の方法について理解する。 （2）収集したデータの分類整理、論理的な言説の展開、説得力のある提示や発表の仕方などを行うことができる。				◎			○	
22JEDK1122	日本国憲法	1	教職を目指す人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念とその表現である主な条文について理解を深める。	（1）憲法と法律の違いを説明できる。 （2）日本国憲法についての基本的知識を持つ。 （3）社会の諸事象を日本国憲法に照らして考えることができる。	◎							
22JEDK1181	英語会話Ⅰ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	英語の基本的な文法事項などを復習し、コミュニケーション活動を通して基本的な会話が英語でできるようになることを目標とする。	◎		○					
22JEDK1182	英語会話Ⅱ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	「英語会話Ⅰ」で身につけた基本的会話表現・スキルを応用し、様々な状況で英語による意思伝達ができるようになることを目標とする。	◎		○					
22JEDK1121	教育とICT	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。さらに、教員・保育士の仕事を援助する道具としてコンピュータを使いこなす能力と、教職に必要な情報教育についての高度な情報処理能力を獲得し、情報化社会に対応した教育を実践できる能力を育成する。	（1）本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 （2）基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識を持ち、場面に応じて、安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 （3）レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。 （4）教育・保育に利用できるマルチメディア技術を習得するとともに、教育・保育現場で必要な情報モラルの基本を身につける。	○		◎			○		
22JEDK1124	体育Ⅰ（講義）	1	体育・スポーツについての講義と体験的活動を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	（1）安全対策の理論的背景について理解する。 （2）水泳を安全に実践することができる。 （3）教職に対応できる技能の習熟と安全で効果的な指導法を習得する。	◎		○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2		
22JEDK1123	体育Ⅱ（実技）	1	体育・スポーツについての体験的活動と講義を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。体育実技の授業を通して体力の保持増進に努め生涯を通して運動に親しもうとする態度を養う。	(1) 各種運動を安全に実施するための基礎的知識を理解する。 (2) 各種運動を安全に実施することができる。 (3) 楽しい体育をどのように具現化していけばよいのかを、自らが体育実技を通して体得する。 (4) 幼稚園教師・保育士として必要な運動やゲームを多く経験し、理解する。	○		◎							
22JEDK2001	幼児教育・保育研究	2	自分で選択したテーマについての理解を深めるとともに、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を高める。	(1) 研究に必要な幅広い知識と、研究を進めるためのスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する多様な考えを理解し、自分の見解を持つことができる。				○		○			◎	
22JEDK2212	子どもと健康	2	領域「健康」の指導に関する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身につける。	(1) 幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解している。 (2) 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解している。 (3) 安全な生活と怪我や病気の予防を理解している。 (4) 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解している。		◎	○							
22JEDK2214	子どもと人間関係	2	領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身につける。	(1) 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。 (2) 幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解する。		◎				○				
22JEDK2216	子どもと環境	2	領域「環境」の指導に関する、幼児を取り巻く環境や、幼児と環境の関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身につける。	(1) 幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解している。 (2) 幼児の身近な環境との関わりにおける思考・科学的概念の発達を理解している。 (3) 幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりを発達を理解している。		◎	○							
22JEDK1211	子どもと言葉	1	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身につける。	(1) 人間にとっての言葉の意義や機能を理解している。 (2) 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解している。 (3) 幼児にとっての児童文化財の意義を理解している。		◎	○			○				
22JEDK1212	子どもと音楽表現	1	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。	(1) 幼児の表現の姿や、その発達を理解している。 (2) 音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。		○	◎							
22JEDK1213	子どもと造形表現	1	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。	(1) 幼児の表現の姿や、その発達を理解している。 (2) 造形表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。		○	◎							
22JEDK2211	子どもと身体表現	2	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達およびそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。	(1) 幼児の表現の姿や、その発達を理解している。 (2) 身体表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。		◎	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JEDK1221	保育内容総論	1	幼稚園教育は、園生活全体を通して総合的に指導するという指導の考え方を理解し、具体的な幼児の姿と関連づけながら、環境を構成し実践するために必要な知識・技能を身につける。	(1) 幼稚園教育の基本を踏まえた幼稚園における指導の考え方を理解している。 (2) 幼稚園教育における指導計画の考え方を理解し、幼児の発達の過程を見通した指導計画作成を理解する。 (3) 幼児の興味や関心や発達の実情などに応じた具体的な指導のあり方を理解する。		◎							
22JEDK1222	保育内容・健康	1	保育内容「健康」の目標や乳幼児の健康な心と体の発達を正しく理解し、健康で安全な生活が営めるようにするための保育のあり方や援助の仕方を学ぶことを目的とする。	(1) 発達年齢に応じて健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育のあり方を理解するとともに実践力を獲得する。 (2) 獲得した知識を活用し、課題を解決する力を持つ。 (3) 保育内容「健康」の目標を正しく理解し、保育実践の場で生かされる技能を身につける。		◎	○						
22JEDK2221	保育内容・環境	2	領域「環境」は、「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「環境」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎	○						
22JEDK2223	保育内容・人間関係	2	領域「人間関係」は、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「人間関係」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想し実践する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎	○						
22JEDK1224	保育内容・言葉	1	領域「言葉」は、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力について理解し幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「言葉」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「言葉」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎	○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JEDK1226	保育内容・表現Ⅰ	1	領域「表現」は、「感じたことや考えたことを・自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。幼稚園教育や保育所保育等において育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらいおよび内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。	(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本や保育所保育指針に示された保育の基本等を踏まえ、領域「表現」のねらいおよび内容を理解している。 (2) 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。		◎	○						
22JEDK2225	保育内容・表現Ⅱ	2	遊びの中で幼児が心豊かに育つためには、保育者の感性が問われる。幼児がイメージを広げ、伸び伸びと表現活動を楽しむためには保育者として、どのような援助や環境構成が大切かを学ぶことを目的とする。	(1) 遊びの中での乳幼児の表現とはどのようなことかを知り、一人一人の幼児の心を理解する大切さを学ぶ。 (2) 伸び伸びと表現する楽しさや、いろいろな素材を使った制作活動、人とかかわる楽しさを身につけ、実技をとおして実践力を身につける。		◎	○						
22JEDK2227	保育内容指導法	2	保育内容は、乳幼児が遊びや活動に主体的に関わり、充実した生活を送ることを目標に、その時期にふさわしい成長と発達を促す手立てである。そのため、保育者には遊びや生活を通じた指導や援助、環境を通じた保育が求められる。本講義では、特に、遊びから学びへの過程を考察するとともに、遊びにおける保育者の役割や指導法、さらには環境を通じた保育について具体的に学習することを目的とする。	(1) 子どもにとっての遊びの意義および保育における遊びの重要性を理解する。 (2) 保育における環境の意味と重要性を理解する。 (3) 5領域の指導法の概要を理解する。 (4) 遊びの指導法を理解し、その具体的な指導法を身につける。			◎						
22JEDK1231	教育原理	1	教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育および学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。また、教育実践に関わる基礎理論と実際の取り組みを学び、現代教育の抱えている課題を理解する。	(1) 教育という営みの基本的概念、および教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解している。 (2) 教育の歴史に関する基礎的知識を身につけ、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を理解している。 (3) 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育および学校との関わりを理解している。		◎							
22JEDK1233	保育原理	1	1. 保育所などで行われる集団保育の基礎・基本を理解する。 2. 乳幼児の保育はいかにあるべきか、乳幼児の豊かな発達をいかに保障するか、保育士の役割は何かなど保育の原理を学ぶ。 3. 保育の歴史や今日の課題についても学ぶことを目的とする。	(1) 保育の意義および保育所などの保育施設の役割について理解する。 (2) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などにおける保育の基本を理解する。 (3) 保育内容、保育方法について理解する。 (4) 保育の思想および歴史の変遷について理解する。 (5) 保育の現状と課題について理解する。		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JEDK1235	保育者論	1	幼稚園や保育所・施設等で保育を行う者として、あるべき姿や倫理観、使命感、専門性を理解するとともに、自己の課題を明確にし、目的意識をもって学習に取り組む。	(1) 保育者の役割と倫理について理解する。 (2) 保育者の制度的な位置づけを理解する。 (3) 保育者の専門性について考察し、理解する。 (4) 保育者の協働について理解する。 (5) 保育者の専門職的成長について理解する。 (6) 保育者を目指す者としての学習のあり方を見直し、自己の課題を明確にする。								◎	
22JEDK2232	教育・保育制度論	2	(1) 現代の学校教育、特に我が国の就学前教育・保育に関する社会的、制度的または経営的事項について、基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解する。 (2) 学校園と地域との連携に関する理解およびその安全への対応に関する基礎的知識を身につける。 (3) 上記(1)および(2)の科目目的について、就学前教育・保育に実践的構造に即して理解する。	(1) 社会の状況を理解し、その変化が学校教育、特に就学前教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解する。 (2) 現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身につけるとともに、そこに内在する課題を理解する。 (3) 学校園および教育行政機関の目的とその実現について、地域に根ざす教育経営の観点から理解する。 (4) 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。 (5) 学校の管理下で起こる事件、事故および災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。		◎							
22JEDK1232	保育の心理学	1	教育・保育に関わる心理学の基礎的知識を習得し、子どもの発達と学習の過程への理解を深めることを目的とする。生涯発達の過程とともにその発達が人と相互的関わりを通してなされていくことを理解する。また、子どもの学習の過程に関する基礎的知識を身につけ、主体的な学習を支える基礎を身につける。	(1) 重要な発達理論を説明することができる。 (2) 各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 (3) 発達と学習の理論を踏まえて、幼児期の遊びとしての主体的な学習活動を支える指導のあり方を考えることができる。		◎							
22JEDK1234	特別支援教育総論	1	特別支援教育の実践に必要な基礎として、障害のある子どもの心身の発達、およびその発達に即した教育の必要性と手法について学ぶ。	(1) 障害のある子どもの心身の発達を知る。 (2) 特別支援教育の実践に必要な基礎を学ぶ。 (3) 障害のある子どもに即した教育の必要性と手法を学ぶ。	◎								
22JEDK2231	教育課程・保育計画論	2	教育目標に示されている人格の完成の実現に向けて、子どもの心身の成長・発達に応じた保育・教育を行うために、保育・教育課程についての意義や編成についての理論を理解する。	子どもに応じた保育指導を行うための枠組みとなる保育・教育課程の意義や類型、それを編成するときのスコープやシーケンスといった観点など理論的背景について知識を習得する。		◎							
22JEDK2244	教育方法の理論と実践	2	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器および教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身につける。さらに、教育方法の理論と技術、子どもの学習・生活経験、カリキュラムと評価に関する理解等を考慮した指導案と教材を作成することを学ぶ。	(1) 教育方法の基礎的理論およびこれからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するための教育方法のあり方を理解している。 (2) 教育の目的に適した指導技術を理解し身につけている。 (3) 教育方法、教材、保育の展開、協同的な活動、評価の視点等を含めた保育指導案を作成できる。 (4) 子どもたちの興味・関心を高めたり、遊びを振り返ったりするために情報機器を活用した効果的な保育を考案することができる。			◎			○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
22JEDK2243	保育・教育相談支援	2	幼稚園・保育所において、乳幼児や児童の発達に関する心理学知識をもとに、子どもの特性を理解し、子ども自身および保護者の支援についてその内容と方法を具体的に理解する。	(1) 乳幼児期から児童期にわたる子どもの心理的発達の特徴を理解している。 (2) 乳幼児期から児童期にわたる子どもの心理的な問題を理解し、実践に活かすことができる。 (3) 乳幼児期から児童期にわたる子どもの保護者の悩みを理解し、実践に活かすことができる。			◎	○						
22JEDK2251	教育実習事前事後指導(幼)	2	教育実習の意義を自覚し教育実習に臨めるようにするための基礎的・予備知識や技能の習得を目指すとともに、事前学習と実習園での実体験を結合させる。また、実習後の振り返りを行いつつ、教職への認識を確かなものとする。	(1) 教育実習に備えて、実習についての知識、技能、心構えを習得する。 (2) 保育指導案の作成、教育実習記録の記入方法を学び、ポイントを定め、まとめられるようになる。 (3) 実習体験報告交換会等の中で、進んで自己課題を発表し合い、他者と学びを深め合えるようになる。			◎	○					○	
22JEDK2292	教育実習(幼)	2	幼稚園での教育実践を体験することで、授業で学習した理論・方法を活用しながら、幼稚園教師を目指すものとして必要な保育観・知識・技能・態度などを学び、指導力をつける。	(1) 保育者としてふさわしい服装・ことばづかい・態度で実習に参加する。 (2) 幼児に対して思いやりのある態度で接し一人ひとりを理解しようとする。 (3) 指導内容について教材研究を行う。 (4) 記録を書くことを通して課題意識を明確にする。			◎	○					○	
22JEDK2252	保育・教職実践演習(幼)	2	保育・幼児教育の担い手としての生活をより円滑にスタートできるよう、保育者になる上で必要な資質能力についての自己の課題を自覚し、不足している知識や技能等を必要に応じて補い、その定着を図る。	(1) 保育者として、使命感・責任感・教育保育的愛情等を有している。 (2) 社会性や対人関係能力を有している。 (3) 子どもを理解し、学級経営等を行うことができる。 (4) 保育内容等を豊かに開発し、これを保育実践に計画的に生かしつつ指導することができる。							○		○	◎
22JEDK1251	器楽基礎	1	読譜力とリズム感の涵養およびピアノの演奏技術の基礎練習を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 基礎的な読譜をするための知識を身につけている。 (2) 初歩的なピアノ曲の演奏ができる。			◎	○	○					
22JEDK2253	アンサンブルと弾き歌い	2	ピアノ演奏の体験的・探究的活動を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の向上を図る。	(1) より高度なピアノ曲を演奏することができる。 (2) 童謡や唱歌の弾き歌いおよび伴奏のレパートリーを増やす。 (3) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した演奏を伴う活動を行うことができる。			◎	○					○	
22JEDK2254	人権教育と福祉	2	現代社会の諸課題についての探究的活動を通して、幼児教育・保育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 現代社会の諸課題に基づいた授業計画と立案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。 (3) エネルギーや環境問題、貧困問題といった社会問題への関心を高めることができる。			◎							
22JEDK1511	子ども家庭福祉	1	子どもとその家族の社会的背景やその変遷を学び、子どもの権利、関連する児童福祉の理念および知識の理解を深める。また、現代社会における子どもやその家庭に関わる課題についての理解を深め、子どもと家族への支援のあり方を考えることを目的とする。	(1) 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 (2) 子どもの人権擁護について理解する。 (3) 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 (4) 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 (5) 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。			◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JEDK2512	社会福祉	2	社会福祉の概念やその意義、社会福祉のサービス体系、現代家族の抱える生活課題について学び、支援の視点や留意点について理解を深める。さらに、親子の抱える問題解決に向けて必要な、保育者としての基本的知識を身につけることを目的とする。	(1) 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷および社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 (2) 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 (3) 社会福祉における相談援助について理解する。 (4) 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。 (5) 社会福祉の動向と課題について理解する。		◎							
22JEDK2514	子ども家庭支援論	2	子育て家庭に対する支援の意義と必要性、目的と機能を理解する。子ども家庭支援の現状と課題について、子育て家庭に対する支援の体制や社会資源、具体的な施策について、また子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開について理解することを目的とする。	(1) 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 (2) 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 (3) 子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 (4) 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。		◎		○					
22JEDK1512	社会的養護 I	1	社会的養護の歴史の変遷や現状、意義、制度について理解し、子どもの人権擁護や社会的養護を踏まえた「子ども観」を持つとともに、社会的養護を実践するために必要な、保育者としての基本的知識を身につけることを目的とする。	(1) 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 (2) 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 (3) 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (4) 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 (5) 社会的養護の現状と課題について理解する。		◎							
22JEDK2521	子ども家庭支援の心理学	2	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識をもとに、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。また、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について、発達の観点から理解する。さらに、子育ての経験における親としての育ちを含めて、子どもとその家庭を包括的にとらえ支援するという技能を身につける。	(1) 初期経験の重要性と発達課題について理解する。 (2) 親子関係・家族関係を発達のとらえる知識を身につける。 (3) 親としての育ちをライフコースの中で理解し、子育て家庭と親を支援する技能を身につける。 (4) 子どもの精神保健とその課題、特別な配慮を要する家庭の課題についても理解し、支援する技能を身につける。		○	◎						
22JEDK2522	子どもの理解と援助	2	保育者にとって不可欠な、子どもを理解する力を持つことの重要性を知り、意欲と熱意をもって保育者に必要な知識や技能を学ぶ姿勢を身につける。保育者としての幅広い教養とともに自分の得意分野を見つけ、子どもの「生きる力」の基礎を培える基礎的な力を身につける。	(1) 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 (2) 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 (3) 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 (4) 子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解する。		◎	○						
22JEDK1522	子どもの保健	1	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義や目的について理解する。また、現代社会における子どもの健康に関する現状や課題を知り、子どもの発育発達や安全管理、疾病予防等を踏まえた保健活動のあり方について理解を深めることを目的とする。	(1) 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 (2) 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 (3) 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 (4) 子どもの疾病とその予防法および他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JEDK2523	子どもの食と栄養	2	健康における食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程を踏まえた食生活のあり方、食生活に特別な配慮を有する子どもへの対応について学ぶ。また、保育における食育の意義や目的について理解し、食育実践を行うために必要な、保育者としての基本的知識を身につけることを目的とする。	(1) 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。 (2) 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 (3) 養護および教育の一体性を踏まえた保育における食育の意義・目的、基本的考え方、その内容等について理解する。 (4) 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。 (5) 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。	○	◎	○						
22JEDK1532	乳児保育Ⅰ	1	3歳未満児を対象とする乳児保育について、その歴史的変遷、意義や役割等について学ぶ。また、乳児保育のねらいや内容について学び、子どもの発育発達や各種の連携を踏まえた乳児保育のあり方について理解を深めることを目的とする。	(1) 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷および役割等について理解する。 (2) 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 (4) 乳児保育における職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携について理解する。		○	◎						
22JEDK2531	乳児保育Ⅱ	2	3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法および環境について、また乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。これらを踏まえ、乳児保育における計画の作成について、長期的な指導計画と短期的な指導計画、個別的な指導計画と集団的な指導計画を実際に作成し、乳児保育を担う保育者としての実践力を身につける。	(1) 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 (2) 養護および教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法および環境について、具体的に理解する。 (3) 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。 (4) (1)～(3)を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。		○	◎						
22JEDK2533	子どもの健康と安全	2	保育における保健的観点(アレルギーや感染症、事故等に関する各種ガイドラインやデータ等)を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について理解する。また子どもの保健および安全にかかわる組織的取組や保健活動についても理解を深めることを目的とする。	(1) 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 (2) 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。 (3) 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。 (4) 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策について、具体的に理解する。 (5) 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。 (6) 子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画および評価等について、具体的に理解する。		○	◎						
22JEDK2535	障害児保育	2	障害児保育の理念や概要、障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の現状と課題について理解し、保育士に求められる障害児保育に必要な基本的姿勢や基本的知識、保育方法・技術、そして保護者支援などについて学ぶことを目的とする。	(1) 障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児およびその保育について理解する。 (2) 個々の特性や心身の発達等に即した援助や配慮について理解する。 (3) 障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 (4) 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協議について理解する。 (5) 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。		○	◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
22JEDK2537	社会的養護Ⅱ	2	社会的養護における子どもの権利擁護と保育士等の倫理責務について、施設や里親養護など様々な事例を通して具体的に学ぶとともに、支援計画を作成し、事例分析を通して理解を深めることを目的とする。	(1) 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。 (2) 施設養護および家庭養護の実際について理解する。 (3) 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 (4) 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。 (5) 社会的養護における子どもの虐待の防止と家庭支援について理解する。		◎	○						
22JEDK2532	子育て支援	2	保護者との信頼関係を形成し、保護者や家庭の抱える支援のニーズに気づき理解し、実際に支援ができる保育士を目指して、相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の多様な支援のあり方を具体的に理解することを目的とする。	(1) 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2) 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法および技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。		○	◎						
22JEDK1541	保育実習指導ⅠA	1	保育所と施設での現場実習を円滑に実施し、学びを深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得することを目的とする。	(1) 保育実習の意義と目的を理解する。 (2) 保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 (3) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容について具体的に理解する。 (4) 保育士の倫理について理解する。 (5) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーを理解し、習得する。			◎	○				○	
22JEDK1542	保育実習指導ⅠB	1	「保育実習指導ⅠA」や既習科目も踏まえて、保育所と施設での現場実習を円滑に実施し、学びを深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得することを目的とする。	(1) 保育実習の意義と目的を理解する。 (2) 保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 (3) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容について具体的に理解し、習得に努める。 (4) 保育士の倫理について理解する。 (5) 保育実習後の課題把握の契機をつくり、学習目標を明確にする。 (6) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーを理解し、習得する。			◎	○				○	
22JEDK1592	保育実習Ⅰ（保育所）	1	保育所の見学・観察、子どもの生活や遊びへの参加を通して、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能について具体的に理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得することを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して、子どもへの理解を深める。 (3) 保育および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。			◎	○				○	
22JEDK1594	保育実習Ⅰ（施設）	1	保育所以外の児童福祉施設の見学・観察、生活などへの参加を通して、児童福祉施設などの役割と機能、保育士の職務、児童や成人の発達、保育・養護や援助の方法について理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得することを目的とする。	(1) 児童福祉施設などの役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して児童や成人への理解を深める。 (3) 保育や養護、支援、および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育や養護、支援の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。			◎	○				○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
22JEDK2541	保育実習指導Ⅱ	2	「保育実習Ⅱ」のための事前・事後指導を行う科目である。「保育実習Ⅰ」での保育所と施設の実習経験、既習の教科の内容を踏まえ、2度目の保育所実習を行うために、より実践的な学びと、よりよい保育の展開のための総合的な学びを進め、豊かな保育実践力を身につけることを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や「保育実習Ⅰ」の経験を踏まえ、保育および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。			◎	○				○	
22JEDK2591	保育実習Ⅱ	2	保育所における参与観察や指導計画の立案と実施などを通して、「保育実習Ⅰ」の学びを深化させると同時に、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能に対する理解を深める。それらによって、保育士に求められる価値・倫理、知識、技術を修得を目指すとともに、自己の課題を明確にすることを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や「保育実習Ⅰ」の経験を踏まえ、保育および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。			◎	○				○	